



枕崎茶業青年の会が3年連続で産地賞の快挙 ～県茶業青年の会品質向上共進会品評会

■平成21年鹿児島県茶業青年の会品質向上共進会において品評会が行われ、県内各地から124点が出品されました。この中で、枕崎茶業青年の会（松崎康男会長・写真前列左）の中村哲治さん（妙見町・同前列右）が県茶業会議所会頭賞、庵山広毅さん（塩屋南町・同後列中央）が県経済農業協同組合連合会会長賞、森田宏明さん（下松町・同後列左）が（社）県茶生産協会会長賞、中原裕司さん（旭町・同後列右）が県茶商業協同組合理事長賞を受賞。また、3年連続で産地賞に輝く快挙を達成しました。

松崎会長は「みんなががんばってくれたおかげで今年も産地賞をいただいた。これからも協力しながら頑張っておいしいお茶をつくりたい。ぜひ、市民の皆さんもお茶をいっぱい飲んでください」と笑顔で話してくれました。



お魚センターに珍大根

■お魚センター内にあるテナントに2月の中旬、面白い大根が特産品と一緒に並んでいました。店員は「不景気な世の中だけど、この大根を見て笑って元気になってほしい」と語っていました。観光客の中には、さい銭をすき間にはさんでいく人もいて、珍大根に元気をもらっていました。

晴れ舞台で堂々とした振る舞い

～勤労青少年ホーム着付けと礼法講座受講生がきもの発表会に出演

■勤労青少年ホームの着付けと礼法講座を受講している約10名が2月21日、南薩地域地場産業振興センターで行われたきもの発表会に出演しました。

発表会で受講生らは、講座の講師を務める四元みどり先生に習った着装などを堂々と披露。会場いっぱい詰めかけた観客からは大きな拍手が送られていました。

受講生の一人、田中真弥さん（立神本町）は「亡くなった祖母の着物を眠らせたままにしておくのが、友人の紹介で講座に参加した。このような舞台に立つことができ大変嬉しく思うと同時に、指導してくださった先生や発表会の関係者の方々に感謝している。もっと多くの方に着物を身近なものと感じてもらえれば」と発表会を終え、充実した表情で話してくれました。



絵本の読み聞かせで家族のふれあいを

～枕崎市読書講演会

■枕崎市読書講演会が2月21日、サン・フレッシュ枕崎で開催され、約200人が聴講しました。講師の岸田みさきさん（市教育委員）が『子育てと本の関わり』と題して、自身の子育て体験を交えながら「絵本の読み聞かせは子どもとのふれあいの機会になる。本市にも7つの読み聞かせグループがあるのでぜひ参加してほしい」と読み聞かせの大切さを訴えていました。

講演の前には、市内読み聞かせグループによる枕崎の歴史をテーマにした紙芝居や、ペープサート（紙人形劇）などの実演も行われ、充実した講演会となりました。



本市初の女性消防隊が誕生

～枕崎市女性消防隊結団式

■本市では初めてとなる女性消防隊が発足し、その結団式が2月13日、市内のホテルで行われ100名が出席し発足を祝うとともに隊員を激励しました。式では、依積田尚子隊長が「住民の安全・安心を目的に訓練を重ね、地域の防災に寄与するとともに、全国女性消防操法大会を目指してがんばります」と誓いのことばを力強く述べました。

女性消防隊は12名で構成され、今後、枕崎消防署で規律訓練や応急手当講習などの基礎訓練を行い、大規模な災害時などの応急処置や連絡体制などの後方支援にあたるのが期待されます。

また、来年横浜市で開催される全国女性消防操法大会出場に向け、小型ポンプ（D型）を使った操法訓練も本格的に取り組む予定です。



瀬戸桜公園を桜でいっぱいの公園に

～枕崎市瀬戸桜公園管理運営協議会に寄付金

■枕崎中学校41年卒業選届同窓会のみなさんから瀬戸桜公園の整備にと、枕崎市瀬戸桜公園管理運営協議会に寄付金をいただきました。2月17日、その贈呈式が市役所で行われ、同窓会を代表して下木原義兵衛さん（栄本町）が神園市長に目録を手渡し「家族や親族で桜の木の下に集まって、絆を深める場になってもらえれば」と思いを語ってくれました。

昨年は、別府中学校40年卒業選届同窓会のみなさんからの寄付金もありました。これらの寄付金は、桜の植樹や公園の整備に活用させていただきます。ありがとうございました。



桜もち よもぎ団子作りに挑戦

～木口屋集落の方々たふれあいながら体験活動

■桜もちとよもぎ団子作り体験が2月21日、木口屋集落にあるNPO法人子育てふれあいグループ自然花の建物でありました。地元のお年寄り約10名が講師となり、参加した子どもや家族連れ約15名に作り方を教え、ふれあいながら和やかな雰囲気での体験活動となりました。

木口屋集落の方々には「子どもたちの元気な声が集落の活力になる。また遊びにきてほしい」と笑顔で話してくれました。また、参加した橋口竜輝くん（枕崎小4年）は「どちらも作るのは初めて。丸い形にするのが難しかった。近くの畑で大根や白菜をとったりもできて楽しかった。また行きたい」と、自然がいっぱいの木口屋集落での体験を楽しんだようでした。



鹿籠豚にカツオにたんかん 枕崎を満喫

～枕崎まるごと体験ツアー（早春編）

■枕崎市グリーン・ツーリズム協議会（山崎日代治会長）主催の枕崎まるごと体験ツアーが2月7日に行われ、市外から11名が参加しました。

ツアー一行は午前中に鹿籠豚を使ったソーセージ作りを体験したあと、お魚センターに移動してフラ焼きによるカツオのタタキを作り、昼食と一緒に食べました。

午後からは、上竹登さんの農園でたんかん狩りを体験。参加者から「木のどこになっているたんかんが一番おいしいのか」という質問に上竹さんは「赤道付近（木の真ん中あたり）がおいしい」と答えていました。

参加者は、おいしい食や心からのもてなしなどに大満足。お土産をいっぱい買って枕崎をあとにしました。